

# 在京石鳥谷 町人会だより

## 在京石鳥谷町人会だより

発行所 在京石鳥谷町人会  
埼玉県さいたま市桜  
区大久保領家 630-34  
電話 048-855-7577  
発行者 熊谷 福二  
編集 広報部 会  
責任者 飯塚 悦子

### 町人会と石鳥谷

在京石鳥谷町人会

会長 熊谷 福二

会員各位そして御家族の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年は、創立二十周年を盛大に行う事が出来ましたこと会員の皆様にご礼申し上げます。今年度は二十一回目の総会になり初心にかえり、改め課題が沢山ありますが皆様の御支援ご協力をお願い致して頑張りますので宜しく御指導下さるよう御願ひ申し上げます。

在京石鳥谷町人会が新花巻市に伴い組織偏向いたし早三年目に入りました。

会員の皆様にご協力いただき起動に乗ることが出来ました。此れも一重に花巻市又各関係者の皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げますので御座います。

さて私、九月十日に花巻市石鳥谷支所に行ってみました(協賛のご挨拶回り)が、石鳥谷熊野神社まつり三日間の三日目に当たり大変な賑わい花巻市市長の御挨拶で盛り上がり、三日



目の最後日で国道四号線を通行止めパイパスに迂回させて道路いっぱい祭りパレード、山車五台子供達のさんさ踊り、奴踊り、中学校吹奏楽隊、神楽、鹿踊り、大人のさんさ踊り、各地区での沢山の踊り、パレードで両路肩夜店イッパイ夜遅くまで続いています。

石鳥谷まつりの三大祭りとして南部杜氏の杜氏里まつり石鳥谷道の駅(六月二十日)又花火夢まつり大正橋北上川土手(八月十三日)そして石鳥谷熊野神社まつり石鳥谷町中を通過する四号線路上(九月八、一〇日)此れが石鳥谷三大祭りかと思いましたが毎年なそうです。

在京石鳥谷町人会も会員と共にいろいろ企画いたし行っています。是非参加御願ひします。今年度総会には十一月二日上野公園精養軒にて是非参加下さる様心待ち致しています。



# 恒例の下町散策

足立区在住

河嶋 稔

今年の下町散策は、映画等でおなじみ男はつらいよの葛飾柴又、矢切りの渡し、野菊の墓文学碑にしました。

三月三十日京成線柴又駅前『寅さん』のお出迎えを受けそれぞれ思い思いのポーズで記念にパチリ、いよいよ散策スタート、まずは寅さんが産湯を使った帝釈天めざし参道をのろのろと両脇のお店(映画のロケでモデルです)をひやかしながら見物、やがて二天門、門をくぐりますと帝釈天です(題経寺、日蓮宗)三百年程前に開創されたとのこと。境内には瑞龍の松、鐘楼、庭園、帝釈堂には外周面を法華経説話を表す木彫群で囲まれています。

各自思い思いに帝釈天を参拝、見学し江戸川へ、堤防を越しまして『矢切の渡し』です。江戸時代の初期に農民の為に作られた様です。渡し賃は百円、最初エンジンで向きを変えてから手漕ぎです。風情があり景色良し、しかし寒かった。船を下りてから熱燗で暖

を撮られた方も居られたみたいです。下船してから野菊の墓文学の小道を約三十分小雨も降り出しのろのろと、高台にある西蓮寺の境内へとたどり着く。伊藤左千夫の文学碑と古戦場跡の案内板を見学しました。

「存じこの小説は矢切を舞台にした旧家の子息と手伝いに来ている年上の従妹、民さんとのロマンスです。

ちなみに、この文学碑の有る矢切から直ぐ南に国府台があります。其の昔室町時代(1538年)足利軍と北條軍の合戦場で矢切付近も合戦場だったそうです。

文学碑から徒歩二十五分位、北総線矢切駅へお決まりの懇親会「これが無ければ終わらない」皆さん無事に元気で散会。来年は何処へ行く?



# 桜まつりに参加して

神奈川県座間市在住(大瀬川出身)

菅原 健吉

四月五日(土)恒例の相模原桜市民まつり、素晴らしい天気だ。百米余りの桜並木を通り抜け会場へ向かう。会場には二基のテントが張られていて早速皆さんと挨拶を交わす。机や椅子等を運び準備に大忙し。やがて焼きそばや焼き肉等の匂いが漂い熱気がおびて来る。この位置は「にぎわいゾーン」と命名されている。

パレードがスタートし一段と祭りの雰囲気盛り上げる「今日はどれ位の人の流れになるかな」「流れのピークは三時前後ではないかね」次第に気温も上昇し人々も多くなってきた。

しるし半纏を着て呼び込みの競い合いだ。特産品の試食試飲をすすめる。酒の試飲で微笑がこぼれる。女性群でお酒の試飲を求めて買い上げ下さる方が増えたように思われる。

この桜まつりは在京在県の人達の祭りでもあると思います。花を観てホロ酔いに至福の一時を過ごす。「花を愛で体を休めて明日を待つ」

会場はシビックストリートゾーン

(パレード)、いきいきゾーン、知恵のゾーン、にぎわいゾーンの四種類に命名されています。

ゾーンを行き交う人々の表情は個性ある服装をしている人たち、パレードにその姿を捜している親達等いっぱいだ。この賑やかさも終わろうとしています。夜には懇親会が待ち受けています。今日の一日に乾杯そして唄とつもる話に花を咲かせることでしょう。





# ライフワーク

さいたま市在住

菊池 善男

郷里との行き来は、定年後、大宮から実家へ、毎月二回（一週間超と五日位）で、畑仕事、庭の手入れやら、盛岡・花巻界隈の人々との交流が有り難い。

西の方は、勤務地の職場の「親睦会」が続いており、一月名古屋、四月大阪（京都）へ出向き、変わらぬ旧交を深め合っている。

私と郷里とは、ライフワークとなっている宮沢賢治研究に関わることが多い。二十年前に前に「宮沢賢治研究会」

（東京）に入会後、本格的に取り組み始め、一九九〇年に創設された「見田沢賢治学会・イーハトーブセンター」

（花巻）にその年に入会した。「研究会」は毎月第一土曜日に例会があり、「学会」の方は折々の企画行事が催されている。

今年五月に「函館セミナー」があり、八月は「夏期特設セミナー」が大迫で催された。尚、八月からは「高村光太郎展」が、来年五月までの会期で花巻

のイーハトーブ館で開催されていますので、是非お立ち寄りをお勧めします。

九月二十一、二日は、毎年の「賢治祭」、「総会」が花巻であり、「研究会」では十月の連休に比較山でセミナーが企画されており待ち遠しい。

私は、還暦後を余生ということを楽しまない。人生二毛作、三毛作の心をもつて生きて行きたいと願う。

「研究会」「学会」の役員、理事としての役割に全力をかたむけながらも、引き続き、「高木学校」（高木仁三郎）、「クランボンの会」（林洋子）、「ペシヤワール会」（中村哲）等、素晴らしい活動をしている団体に関わり、エールを送り続けたい。

近年、改めて思うことは、「ふるさと会」を通じての縁の有り難きことである。

「石鳥谷」そして「新しき花巻」・「イーハトーブ岩手」に生まれた幸せを実感しながら、一方、多少なりとも、恩返しをしたきものと願うが、自分なりの歩みを重ねるばかりである。



# 帰省

東京都北区在住

吉田 久美子

七月中旬、一週間帰省して来た。夫の運転する車で行った。夕方着いたので、皆揃って迎えてくれた。実家は四世代が同居している七人家族だ。にぎやかに暮らしている。

母は八十一歳。ゲートボールを楽しんでいる。とても元気だ！

庭にノーセンカズラが咲き乱れ、他にも可愛い花が沢山咲いて、木々もき

れいだ。犬も猫もいてそこにいるだけで癒される。

翌日から近所を毎日散策した。子供の頃遊んだ北上川の堤防と亀沼公園。川と沼のほとりには桜の木が沢山並んでいる。沼の淵には菖蒲が群生しハスのピンクの花が咲いていた。川が洪水するたびに沼は昔よりも大分小さくなったが、さわやかな空気をいっぱい吸って気持ちいい。

小岩井農場、大船渡、稜里海岸、温泉など楽しみ、そして冷麺、海鮮丼、ジンギスカン、新鮮な野菜など岩手ならではの味を堪能した。

ある日、石鳥谷町の有名菓子店に行った。広い芝生のお庭を見ながら食事もあるオシャレな店だった。メニューを見て驚いた。新しい事に挑戦している。具沢山の冷たい神麺、雑穀ごはんのランチ。つるりとした食感の神麺。「おいしかったですう！」と店の人と言った。元気に頑張っている姿を見て嬉しくなった。

また、いつでも温かく迎えてくれる故郷の家族には、本当に有難いなアと感謝の気持ちでいっぱいだ。



# 母と地震

東京都練馬区在住

上川 信行

在京石鳥谷町人会の皆さん、こんにちは！

アンデス音楽でお世話になっております八幡の上川です。

今年は激動の年です。

今年六月 元気だった母が突然「大動脈瘤破裂」で亡くなりました。

なぜ？ あまりに突然の事でパニックになりました。父も春に心臓手術をして健康といえる状態ではありません。私が喪主を務めることになり、葬式のしきたりなど知るはずがなく、本家、隣近所の皆様方から色々しきたりなどを教わりながら無事に勤める事ができました。

そうやって一安心したところに岩手・宮城内陸地震(震度4)を経験、我家がミシミシ左右に揺れ柱が折れるんじゃないかと思いました。葬式から七日目毎のお墓参り、そして四十九日の法要。

法要のその日にまた、大きな地震(震度5弱)今度こそ家が倒壊すると思いました。深夜だったので布団の中でじ

っと耐えるしかありませんでした。

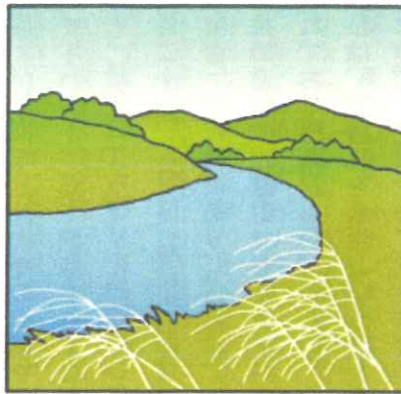
この二つの大地震と母の死について、

私は母がその悲しみを地震に表わしているような気がしてなりません。

遠くで暮らす私に気づくように・・・

初盆を迎えて母の冥福と自然災害が起

こらないことを祈っております。



## 会費納入のお願い

在京石鳥谷町人が新しい体制の中、独自の運営を始めて3年目を迎えました。

花巻市に合併に伴い、旧石鳥谷町役場から引き継いだ事務運営も手さぐり状態の中、少しずつ形になりつつあります。これもひとえに会員の皆様、花巻市関係各位、石鳥谷総合支所の皆様のご協力と感謝申し上げます。

さて、会員800余名の皆様には会の運営費として年会費2,000円をお願いしておりますが、実際に納入頂いているのは平成18年143名、平成19年140名と低迷しております。

皆様のふるさと、町人会存続のためにもより多くの皆様に年会費の納入をお願いし、会の活性化につなげたい所存です。ご協力のほどお願い申し上げます。

つきましては本年度の年会費を同封の郵便振替用紙にてご送金下さいますようお願いいたします。

※年間を通して受け付けております。

口座名義：在京石鳥谷町人会

口座番号：00180-7-261234

会計担当 山口

## 年間の主な予定・催しもの

- ☆ 総会・親睦交流会
- ☆ 相模原市民桜まつり
- ☆ 下町散策会
- ☆ 県人の集い
- ☆ 石鳥谷夢まつり
- ☆ 花巻・石鳥谷観光物産展

(阿佐ヶ谷すすらん通り商店街)

## 編集後記

北京オリンピックも賑やかに終わり、中国十三億人のパワ―にあっかんされました。

さて、町人会だより(四号)の発行です。

広報部員一同会員皆様の原稿をお待ちしております。

(草間)